

14. 地球環境

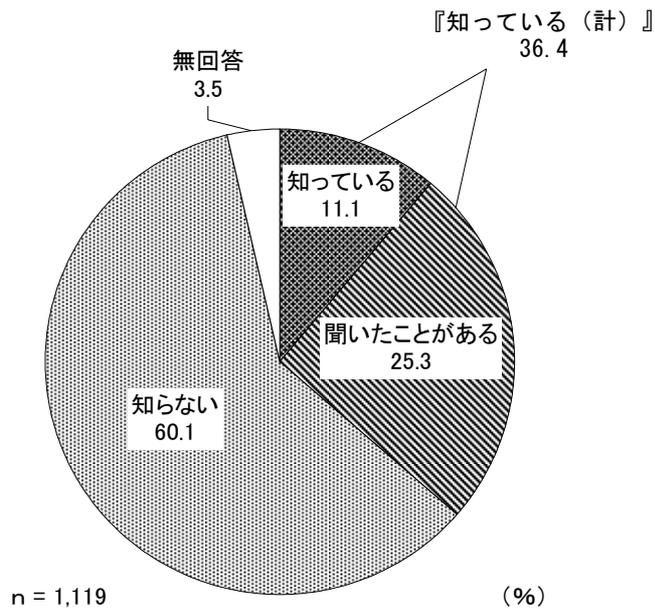
(1) 「生物多様性」の認知度

◇「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた『知っている（計）』は3割半ば

問 28 大田区では、平成 24 年 3 月に大田区環境基本計画を作成し、生物多様性の保全に取り組んでいます。あなたは、「生物多様性」をご存知ですか。（○は1つだけ）

※「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、さらに、生物の遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念です。

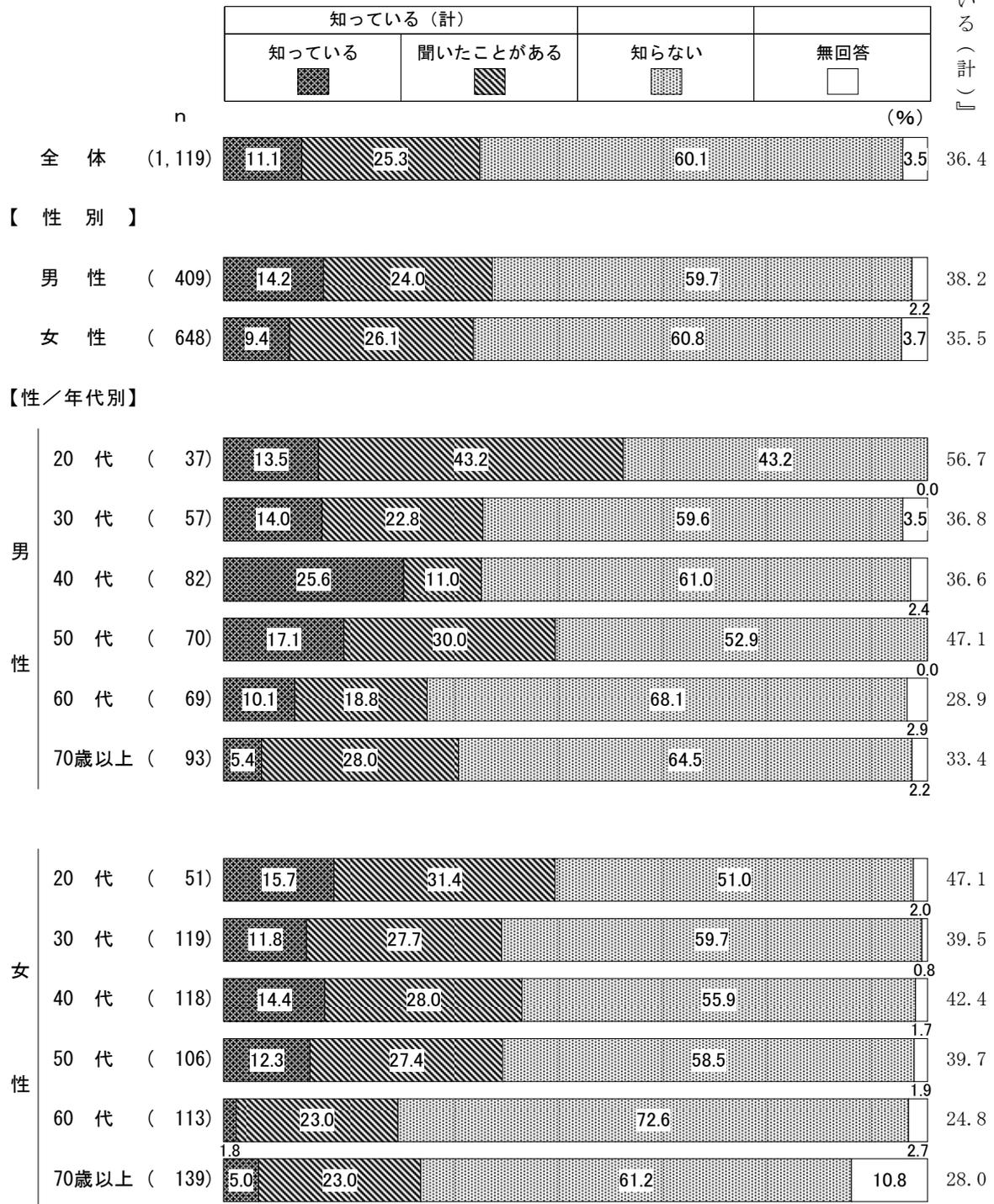
図 14-1-1



「生物多様性」を知っているか聞いたところ、「知っている」(11.1%)と「聞いたことがある」(25.3%)を合わせた『知っている（計）』(36.4%)は3割半ばとなっている。一方、「知らない」(60.1%)が6割となっている。(図 14-1-1)

図 14-1-2 「生物多様性」の認知度－性／年代別

『知っている（計）』



性別で見ると、「知っている」は男性（14.2%）が女性（9.4%）より4.8ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『知っている（計）』は男性20代（56.7%）で6割近くと高くなっている。一方、「知らない」は女性60代（72.6%）で7割を超え高くなっている。（図14-1-2）

(2) 「コアジサシ」の認知度

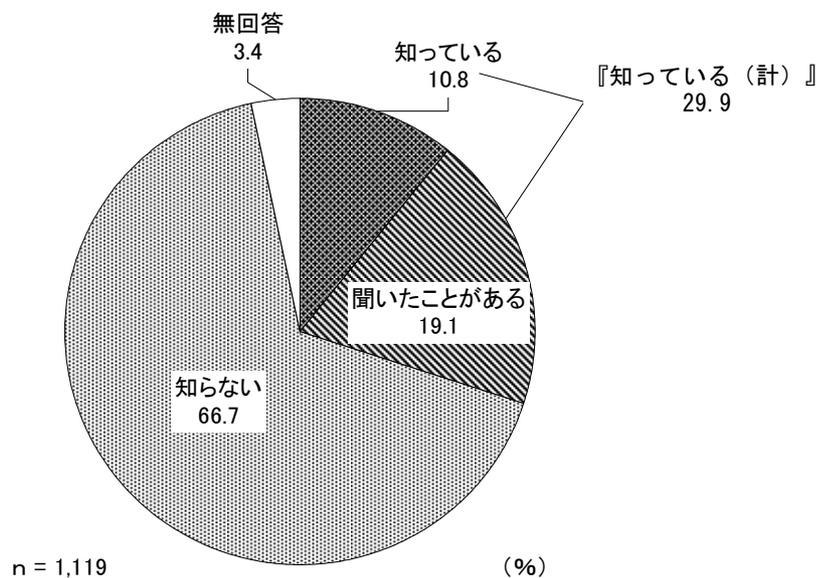
◇「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた『知っている(計)』は3割

問 29 生物多様性の保全の取り組みのひとつとして、絶滅の恐れのある渡り鳥「コアジサシ」※1の営巣地の整備作業をNPOと一緒にを行っています。あなたは、「コアジサシ」をご存知ですか。(○は1つだけ)

※1 「コアジサシ」とは、日本には夏鳥として渡ってきて、海岸の砂浜や河川の河原・中州でコロニーと呼ばれる集団を作り、繁殖します。環境省レッドリスト※2では、「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」に指定されています。

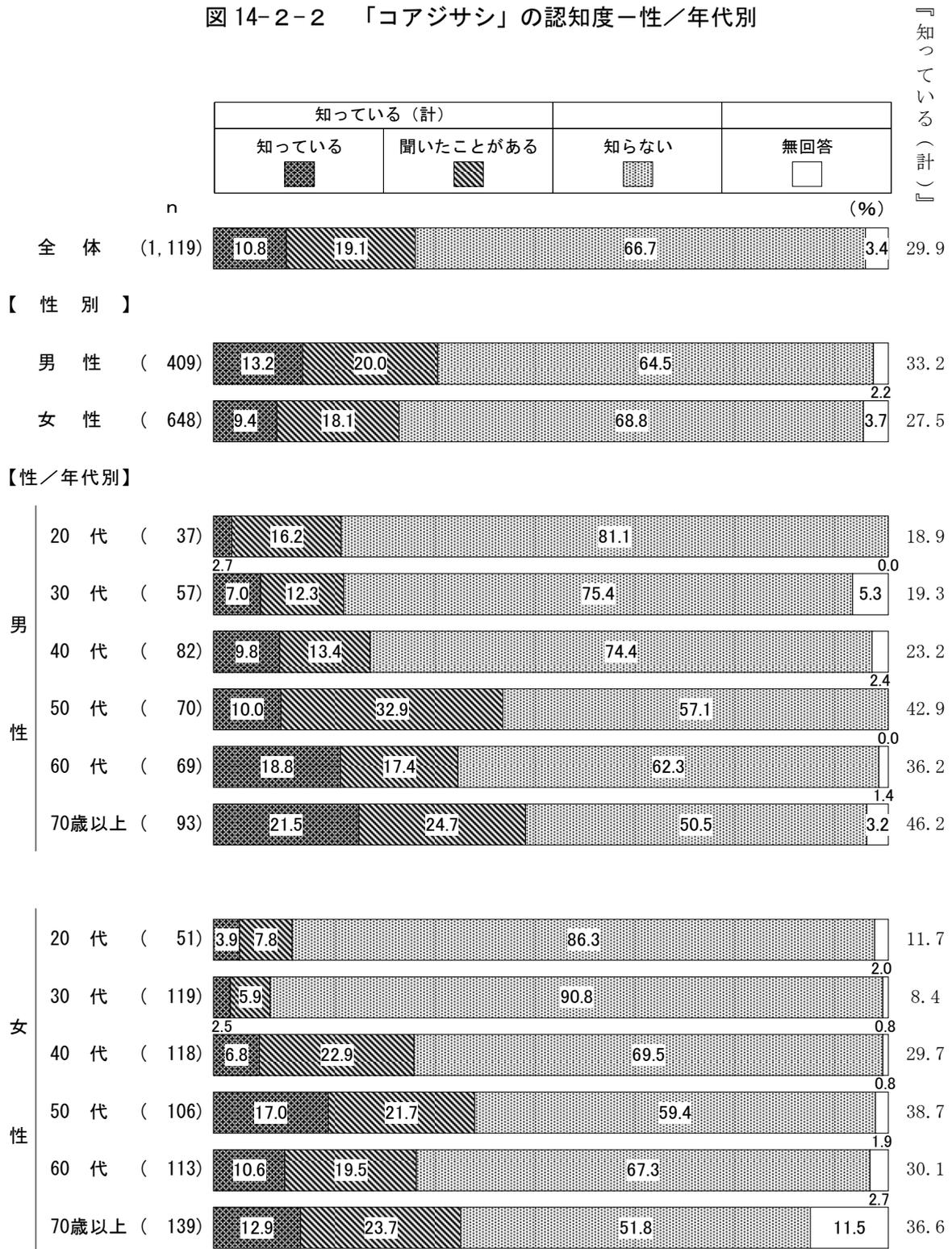
※2 「環境省レッドリスト」とは、環境省が整理した保護が必要な生物のリスト。危険度が高い順にEX、EW、CR、VU、NT、DD、LPの7ランクで評価。

図 14-2-1



「コアジサシ」を知っているか聞いたところ、「知っている」(10.8%)と「聞いたことがある」(19.1%)を合わせた『知っている(計)』(29.9%)は3割となっている。一方、「知らない」(66.7%)が7割近くとなっている。(図 14-2-1)

図 14-2-2 「コアジサシ」の認知度－性／年代別



性別で見ると、『知っている（計）』は男性（33.2%）が女性（27.5%）より5.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『知っている（計）』は男性の50代（42.9%）と70歳以上（46.2%）で4割台と高くなっている。一方、「知らない」は女性30代（90.8%）で約9割と高くなっている。

(図14-2-2)